

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 国保医療課
 担当名: 福祉医療・後期高齢者医療担当
 内線: 3358 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B10	後期高齢者医療対策費			一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	後期高齢者医療対策費	
事業期間	平成20年度～	根拠法令	ア法(高確法)96① イ法96② ウ法99③		針路	03	介護・医療体制の充実		SDGsゴール 3
					分野施策	0303	地域医療体制の充実		SDGsターゲット 3-8
1 事業の概要 後期高齢者医療制度を円滑に運営するため、広域連合及び市町村に対し、必要な負担金を交付する。 (1) 後期高齢者医療定率負担金 △4,383,858千円 医療給付費が当初予算を下回る見込みによる減 (2) 高額医療費負担金 △470,659千円 高額医療費が当初予算を下回る見込みによる減 (3) 保険基盤安定事業費負担金 △1,235,548千円 保険料軽減額が当初予算を下回る見込みによる減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 定率負担金…医療給付費の公費負担分の1/6を広域連合へ交付。 イ 高額医療費負担金…レセプト1件当たり80万円超の医療費について超過額のうち保険料で賄う部分の1/4を広域連合へ交付。 ウ 保険基盤安定事業負担金…低所得者等に対する保険料軽減分の3/4を市町村へ交付。 (2) 事業計画 ア 事業目標・達成水準 後期高齢者医療制度の円滑な運営 イ 今後の計画・事業展開 令和2年度以降も法令に基づき負担金を交付する。 ウ 事業実績 別添資料のとおり。 (3) 事業効果 後期高齢者医療制度の健全かつ円滑な運営 (過去3年の実績) 公費負担対象者数及び1人当たり医療費 令和元年度 被保険者数 850,353人 1人当たり医療費 864,961円 令和2年度 被保険者数 874,330人 1人当たり医療費 826,120円 令和3年度 被保険者数 892,793人 1人当たり医療費 864,961円(速報値) (4) 補正予算の概要 ア 負担金の算出の基となる医療給付費が当初予算を下回る見込みによる減 イ 負担金の算出の基となる高額医療費が当初予算を下回る見込みによる減 ウ 負担金の算出の基となる保険料軽減の額が当初予算を下回る見込みによる減					
2 事業主体及び負担区分 (1) 公費負担分のうち【国4/6(県1/6)市町村1/6】 (2) 国1/4(県1/4)広域連合1/2 (3) (県3/4)市町村1/4									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)高齢者保健福祉費(細目)高齢者保険費(細節)高齢者保険費(積算内容)後期高齢者医療給付費負担金、高額医療費等負担金、保険基盤安定事業									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△6,090,065							△6,090,065	77,851,039
現計額	83,941,104							83,941,104	

事業内訳書

事業名	後期高齢者医療対策費		
単位事業名	後期高齢者医療定率負担金	予算額	△ 4,383,858千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△4,383,858	—	01 後期高齢者医療定率負担金 負担金の算出の基となる医療給付費が当初予算を下回る見込みによる減 △4,383,858千円
合計	△4,383,858	—	

単位事業名	高額医療費負担金	予算額	△ 470,659千円
-------	----------	-----	-------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△470,659	—	02 高齢者医療費負担金 負担金の算出の基となる高額医療費が当初予算を下回る見込みによる減 △470,659千円
合計	△470,659	—	

単位事業名	保険基盤安定事業費負担金	予算額	△ 1,235,548千円
-------	--------------	-----	---------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△1,235,548	—	03 保険基盤安定事業費負担金 負担金の算出の基となる保険料軽減の額が当初予算を下回る見込みによる減 △1,235,548千円
合計	△1,235,548	—	